



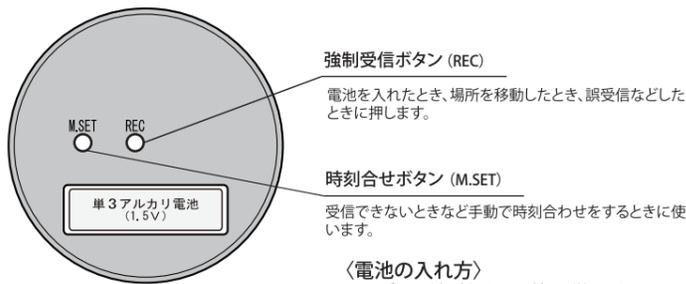
ご購入ありがとうございます。
本製品は電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った電波時計です。
操作の手順や動作などが、他の時計製品と異なります。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
この取扱説明書はお手元に保管していただき、必要に応じてご覧下さい。

※この製品は日本国内用ですので、海外での使用には適しておりません。ご了承ください。



各部の名称



〈電池の入れ方〉

ホルダー電池ふたを取り外し、単3形アルカリ乾電池1個を電池ホルダーの⊕⊖表示に合せてセットし、電池ふたを取り付けてください。

〈ご注意〉

電池の⊕⊖を逆向きにいれると、電池からの液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

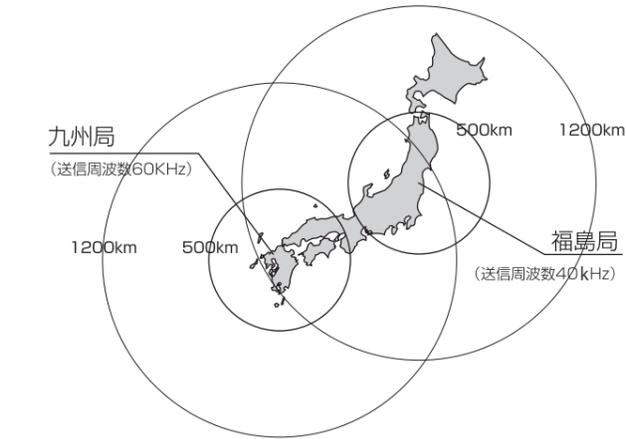
標準電波とは

標準電波 (JJY) は、日本標準時 (JST) をお知らせするために情報通信機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島局と九州局の2ヶ所にあります。

電波の受信範囲について



電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港近くや交通量の多い所など電波障害の起きやすい所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近く、ビルの地下など。
- 朝夕の時間帯、雨天のとき。
- 家電製品やOA機器の近く、スチール机等の金属製家具の上や近く。

- 1 -

ご使用方法

①電池を入れる

時計用単3形アルカリ乾電池1個をそれぞれの電池ホルダーの⊕⊖の表示に合せて入れてください。

※絶縁紙がついている場合は、これをはずしてから電池を入れなおしてください。

②電波受信の結果を確認する

電池を入れると電波受信状態となり、時分秒針が12時の位置で一旦停止します。電波を確実に受信すると、時分針が早回りを始め、自動で標準時刻を指して、通常の運針を始めます。テレビやラジオの時報を目安に確認して下さい。

※電波受信中 (2～16分間) は、針が止まったままになりますが、故障ではありません。電波受信の結果がわかるまで、そのままお待ち下さい。

※17分以上経過しても電波が受信できなかった場合、針はその位置から通常の運針を始めます。このような場合は本説明書の「電波受信ができなかった場合は…」をご参照下さい。

電波受信ができなかった場合は…

電波受信状態 (12時 00分 00秒で停止) から17分以上経過しても受信できなかった場合に、針はその位置から通常の運針を始めます。

再度受信をさせる

通常の運針が始まった後に、RECボタンを3秒間押しして下さい。時分秒針が一旦停止し、再度2～16分間電波受信状態となります。

※電池を入れた直後の電波受信以外は、電波受信状態中も時計内部で時間を計測しています。電波を受信できなかった場合、受信中の経過時間を加えた位置まで針が進み、通常運針を始めます。

※電波受信中 (一旦停止中) は REC ボタンを操作しないで下さい。誤動作の原因となります。

一昼夜そのままにして様子を見る

夜間は比較的電波の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。

※初期受信ができなかった場合は、表示時刻が正時になることに最多14回まで自動で受信を始めます。最多14回の自動受信で受信できなかった場合は、以後24時間に1回 (表示時刻午前1時) に自動受信を行います。

設置場所を変えてみる

設置場所を変えて、再度受信をさせて下さい。

※設置場所を変える場合は、本説明書の「電波時計について」を参照して下さい。

- 2 -

- 3 -

手動による時刻設定の方法

※電波受信中 (時分秒針の早回り中と12時位置で停止中) は手動による時刻設定ができません。必ず通常の運針中に操作して下さい。誤動作の原因となります。

①手動設定モードにする

通常運針中にM.SETボタンを3秒以上押し続けると、手動設定モードに入ります。手動設定モードに入ると、秒針が止まります。

②時刻を設定する

手動設定モード中 (秒針が停止中) に M.SET ボタンを1回押しごとに分針が1分ずつ進みます。ボタンを押し続けると早回りをし、放すと止まります。※合わせたい時刻の10分程度手前で一旦早回しを止め、残りの数分は M.SET ボタンを1回ずつ押し針を進めると合わせやすいです。

※手動で時刻を設定する場合は午前と午後に注意して下さい。使い始めの電波受信中に時分秒針が停止する12時とは、原則として午後12時です。

③通常運針を始める

ボタンを放して7秒以上経過すると、秒針が動き出し通常運針を始めます。

※手動設定モード中、7秒以上操作がない場合は手動設定モードが終了し、その時点から通常運針を始めます。

手動による時刻設定後の自動時刻修正について

手動で時刻を設定した場合も、内蔵されたスケジュールにより自動受信をしますので、受信できる状態になれば時刻を自動で修正します。

内蔵されたスケジュールの時刻 (午前1時) になると、初期受信の状態 (針が12時位置まで早回りをし一旦停止する) になります。このため、手動で時刻設定した後受信できない場所で使用していると、設定した時刻を表示しない時間 (電波受信の状態=最長約20分間) が発生します。

※一度受信ができた後に、内蔵されたスケジュールの時刻になった場合は通常運針の状態のまま受信を行います。

機能の補足説明

リセット操作について

操作中に不明な点が出てきた場合は、全ての電池を一旦電池ホルダから取り外し、1分以上たってから再挿入して下さい。設定されている内容が初期の状態に戻ります。

夜間秒針停止機能について

本製品は、時計内部のプログラムによって、夜間の秒針のコチコチ音がきにならないよう午前0時から午前6時までの間、秒針が12時位置で停止します。

- 4 -

製品仕様

- ・精度：平均月差 ±30 秒以内 (常温での使用時)
※電波時計による時刻修正を行わない場合
- ・表示精度：±1 秒以内 (電波受信による時刻修正の直後)
※秒針/分針 目盛りに対して±3 度
- ・使用温度範囲：0℃～+40℃
- ・使用電池：単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 1個
※オキシライド乾電池には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。
- ・電池寿命：約1年
※付属の電池は、工場出荷時に付けられたモニター用電池ですので、製品仕様の表示より寿命が短い場合があります。(モニター用乾電池とは、時計の機能や性能をチェックするための電池のことです。そのため、付属の電池は保証の対象外です。)
- ・受信電波：標準電波 JJY、周波数：40kHz / 60kHz (自動選局)
- ・自動受信回数：最多14回/日、最少1回

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

保証規定

- 1.保証期間はご購入日から1年間とします。
- 2.修理の際は必ず本保証書を添えて、お買い上げ店、またはお客様サービス窓口にお申し出下さい。
- 3.万一保証期間内に発生した自然故障または破損に関しては、無料で修理、調整いたします。
- 4.本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 5.保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。

- ①本保証書の提示がない場合。
- ②保証書の※欄の字句がない場合。※欄の字句が書き換えられている場合。
- ③お客様の手に渡ってからのお取扱中、及び輸送中、落下などの影響による故障、または損傷。
- ④天災・火災または異常な塩分・酢・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- ⑤お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- 6.電池交換は保証対象ではありません。

- 6 -

電池について

⊖禁止

- ・ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないで下さい。
- ・付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないで下さい。
- ・⊕と⊖を逆に入れしないで下さい。
- ・電池に直接ハンダ付けをしないでください。

⚠️注意 ⚠️警告

- ・寿命の切れた電池はすぐに電池ホルダからはずして下さい。
- ・長期間機器を使用しない場合は機器から電池をはずして下さい。
- ・電池が液漏れした場合は、液に触れないで下さい。液が皮膚や衣服に付着した場合はケガの恐れがありますので、すぐに水で洗い流し、医師に相談して下さい。目に入った場合は、失明などの恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けて下さい。
- ・電池は幼児の手の届かない場所に保管して下さい。万一飲み込んだ場合は、医師に相談して下さい。
- ・電池を廃棄、または保存する場合は、テープなどで絶縁して下さい。他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあります。

電池の種類について

- ・電池は必ず単3形アルカリ乾電池をご使用下さい。
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないで下さい。発熱の恐れがあります。

電池の交換時期について

- ・電池の容量が少なくなると、時間が合わなくなったり止まったりします。このような場合は速やかに新しい電池と交換して下さい。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げの販売店がいたします。次の事項と保証書をお読み下さい。

修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品 (電子回路等) は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品 (ケース、文字盤等) の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理費用には販売工場との運賃なども加算されますのでご了承ください。そのときはお買い上げの販売店ともご相談ください。

- 5 -